



令和8年度
甲斐市立竜王小学校
学校だより

竜の子

令和8年9月4日
第5号
発行責任者
校長 小田切真喜

二学期がスタートしました!

長い夏休みが終わり、学校に子供たちの元気な声と明るい笑顔が戻ってきました。夏休み中の出来事をうれしそうに話す姿、友達との再会を喜ぶ姿から、一人一人がそれぞれに充実した時間を過ごしてきたことが伝わってきます。今年の夏も、厳しい暑さが続きました。また、各地で台風や大雨、地震などによる被害が発生し、自然の力の大きさと、日頃から備えることの大切さを改めて考えさせられる夏でもありました。自然災害を防ぐことはできませんが、正しい情報をもとに考え、早めに行動することで、自分や周囲の人の命を守ることはできます。学校でも引き続き、熱中症への対策をはじめ、さまざまな場面を想定した安全指導に取り組んでまいります。

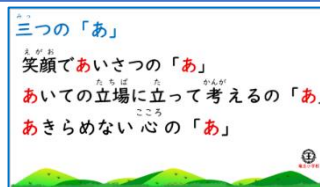


さて、二学期は、一年間の中で最も長い学期です。日々の学習はもちろん、運動会や校外学習、学年ごとの行事など、友達と力を合わせ、自分の力を伸ばす機会がたくさんあります。新しいことに挑戦するときには、「うまくできるだろうか」と不安になることもあります。しかし、初めから何でも上手にできる人はいません。大切なのは、失敗を恐れず、まず一步を踏み出してみることです。昨日できなかったことが今日できるようになったり、苦手だったことに少し自信が持てるようになったりします。そうした小さな成長の積み重ねが、やがて大きな力になります。また、自分一人では難しいことも、友達と声を掛け合い、知恵や力を合わせることで乗り越えられることがあります。友達の頑張りを認めること、困っている人に温かな言葉を掛けること、支えてくれる人への感謝を忘れないこと。その一つ一つが、安心して挑戦できる学校をつくっていきます。二学期の始まりは、誰にとっても新しいスタートです。一学期に思うようにできなかったことがあっても、これからまた始めればよいのです。子供たちには、自分のよさや可能性を信じ、それぞれの目標に向かって、焦らず一歩ずつ進んでほしいと思います。一人一人の挑戦が実を結び、笑顔と成長にあふれる二学期となるよう、教職員一同、力を合わせて子供たちを支えてまいります。保護者・地域の皆様にも、引き続き温かなご理解とご協力をお願いいたします。

始業式 二学期の始業式が行われました



8月31日(月)に始業式が行われました。体育館に集まった子供たちは落ち着いた様子で、最後までしっかりとした態度で始業式を行うことができました。とても頼もしく思いました。式では校長より、子供たちにメッセージを伝えさせていただきました。子供たちは集中して話を聞いてくれました。その内容をご紹介します。



【校長の話(一部抜粋)】 二学期が始まるにあたって、校長先生から、皆さんにぜひ取り組んでほしいことがあるので、お話ししたいと思います。みなさんに取り組んでほしいのは、『三つの「あ」』です。▷一つ目の「あ」は、『笑顔であいさつの「あ」』です。一学期には、皆さんに「笑顔でありがとう」の話をしました。二学期には、「ありがとう」のほかにも、笑顔で「おはようございます」「さようなら」「こんにちは」などのあいさつがきちんとできるようになってほしいと思います。先生方やお友達はもちろんのこと、登校のときに道路に立って安全を守ってくれている地域の人たちにも、感謝の気持ちを込めて気持ちのいいあいさつができるとよいですね。ぜひ竜王小全員のみなさんが、「笑顔であいさつ」ができる子供たちになってほしいと思います。▷二つ目の「あ」は、『あいての立場に立って考えるの「あ」』で

